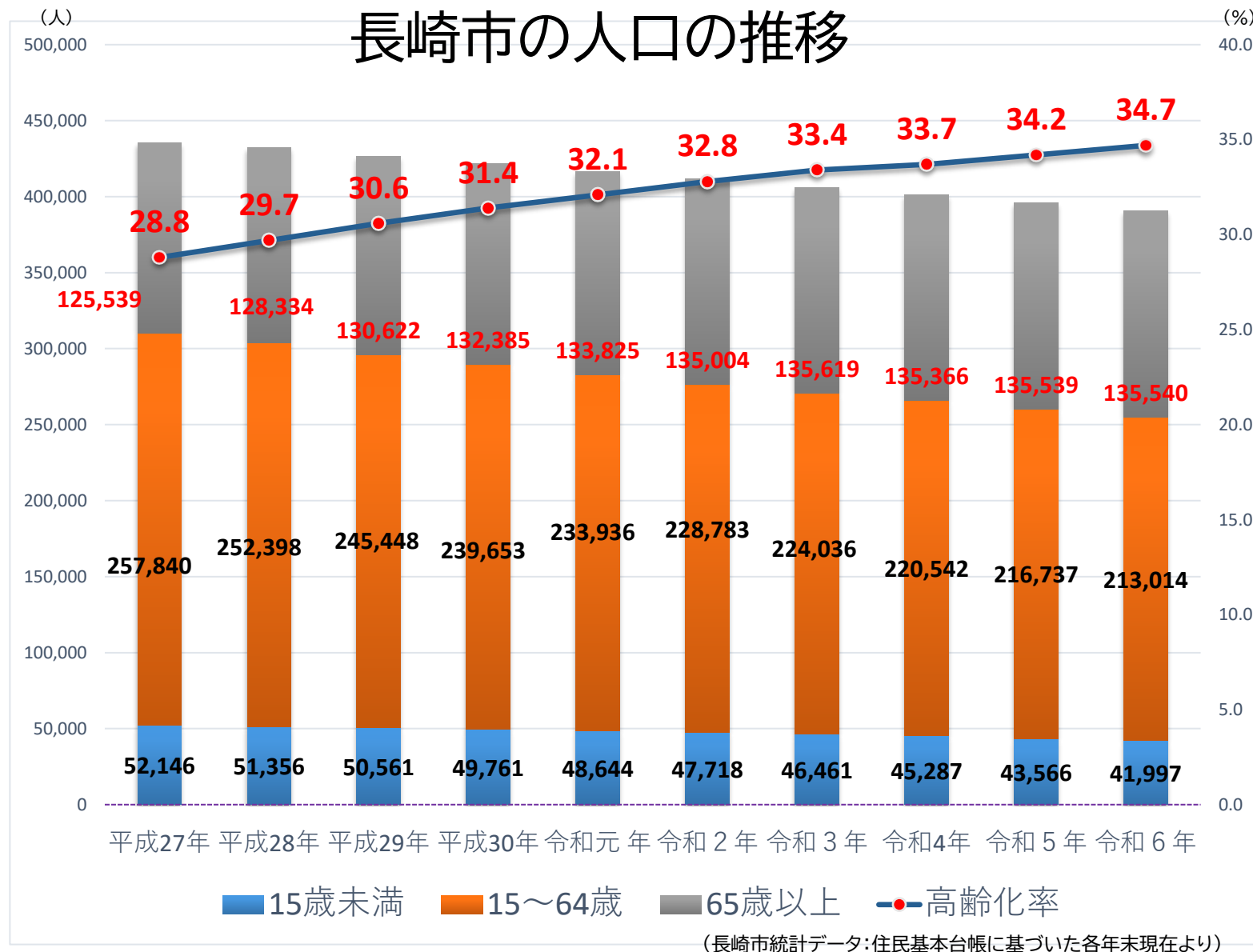
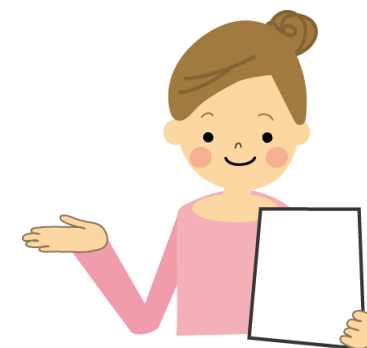


数字から見える長崎市の健康課題は？

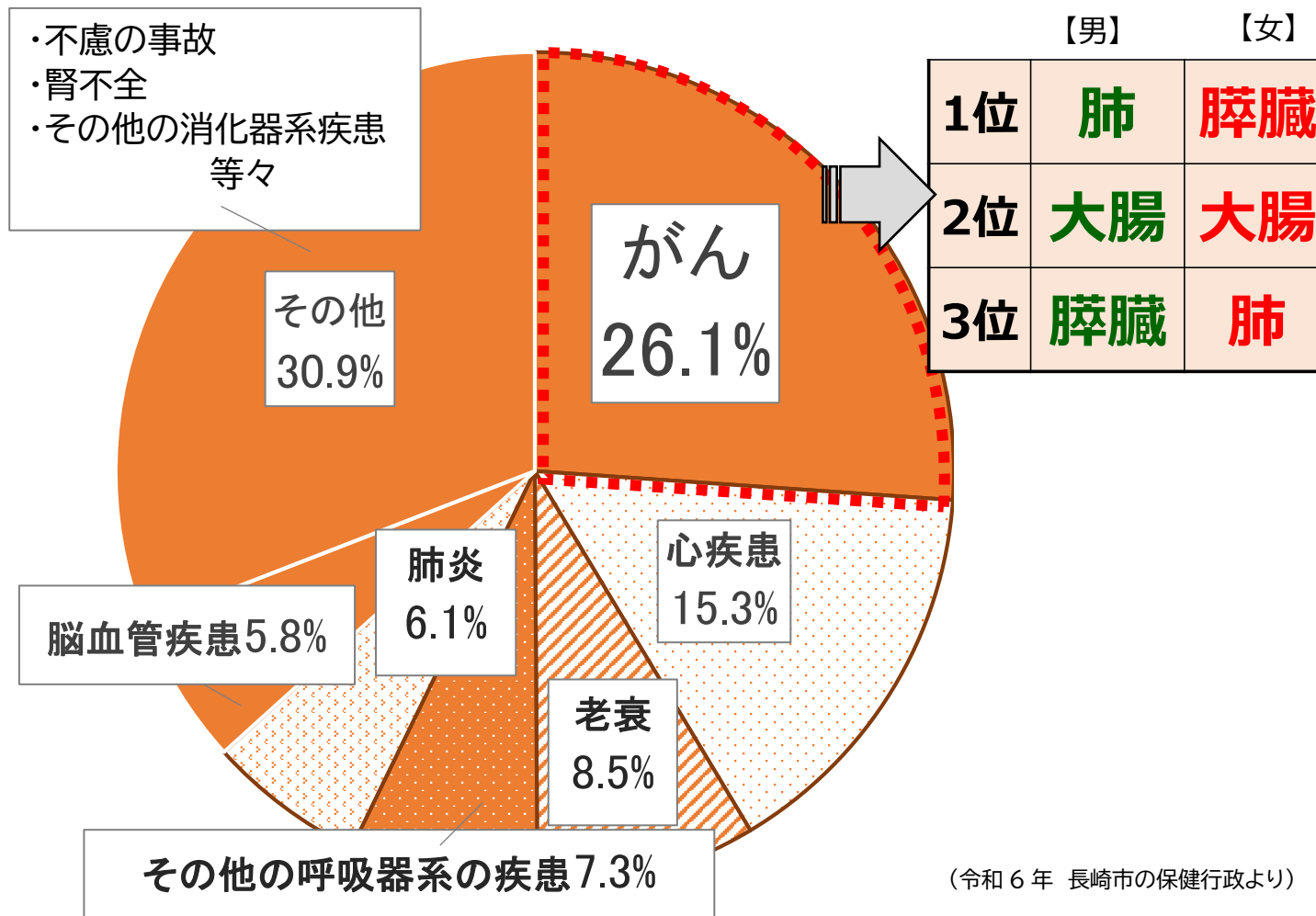


長崎市の総人口は年々減少していますが、総人口に占める高齢者の割合は年々増加しています。



長崎市の主要な死因

令和4年度の5,801人の総死亡数のうち、最も多かった死因は「がん」となっていました。



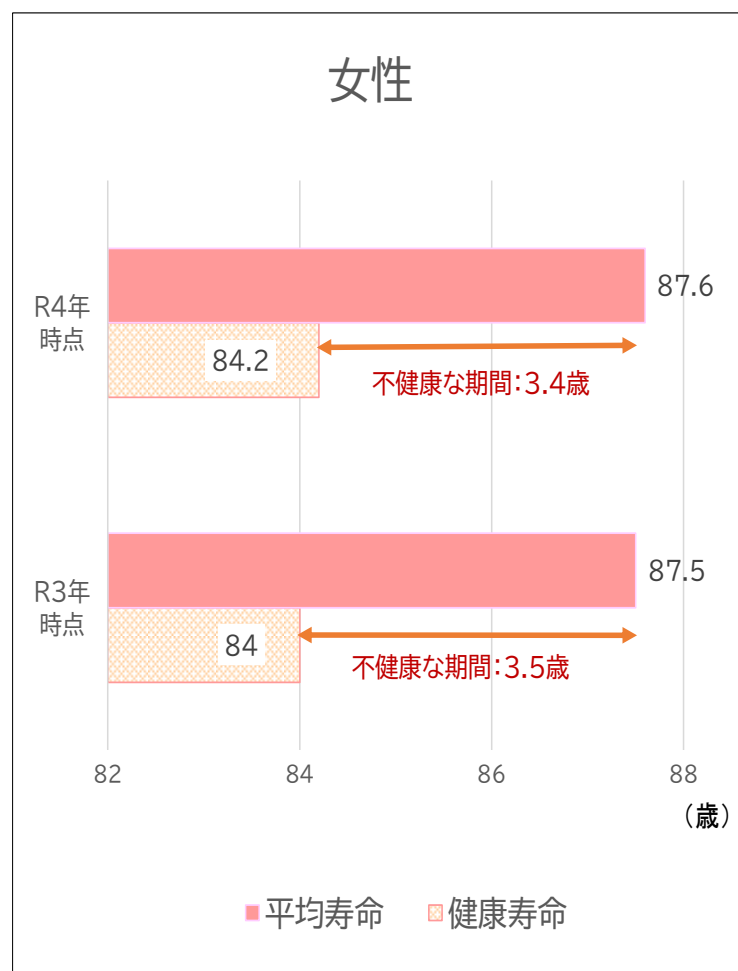
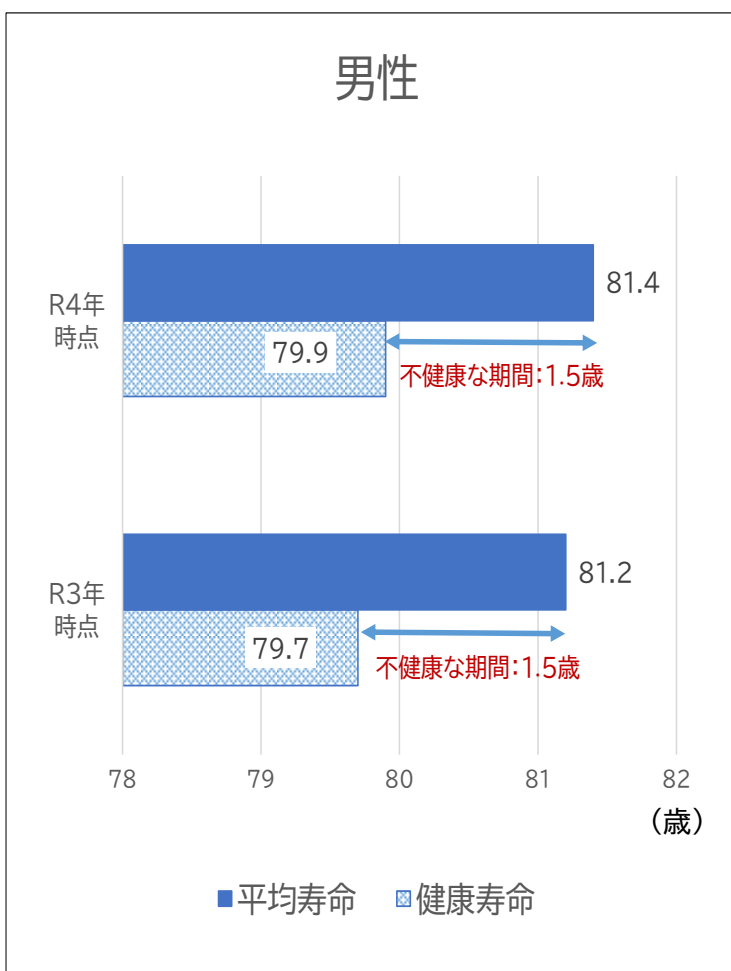
長崎市の死因で最も多いのは「がん」となっており、全体の3割近くを占めています。
また、がんの部位を見ると、肺、膵臓、大腸が多いですね。



長崎市の健康寿命

健康寿命とは、健康上の問題で日常生活に制限されることなく生活できる期間を言います。つまり、平均寿命と健康寿命との差()が、日常生活を送るうえで支障のある「不健康な期間」を意味します。

長崎市の健康寿命は延びていますが、なかなか平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)が縮まりません。



データ元：国保 KDB システム 地域の全体像の把握_長崎市_R6 年度 (平均自立期間は 2 年前の実績値)
地域の全体像の把握_長崎市_R5 年度 (平均自立期間は 2 年前の実績値)

